

著作権(財産権)

法定利用行為

複製(同じものを再製すること)

✓ コピーする。プリントアウトする。ダウンロードして保存する。
テレビ放送をHDDに録画する。CDから曲をスマートフォンに取り込む。

上演・演奏

✓ 観客の前で著作物(脚本や振付)を上演する。曲を演奏する。
舞台上でダウンロードした音源などを再生して観客に聴かせる。

上映

✓ 映画を映画館で上映する。
説明会で写真や動画をプロジェクターで映し出す。

公衆送信

✓ 著作物をインターネットで送信・配信する。
ウェブサイトや動画投稿サービスにアップロードする(送信可能化)。

口述

✓ 絵本を読み聞かせ会で朗読する。

展示

✓ 絵画を美術館で展示する。

頒布(映画の著作物)

✓ 映画館上映用のフィルムを提供する。
DVD・ブルーレイやコンピュータゲームを販売・レンタルする。

譲渡(映画以外の著作物)

✓ 小説(本)を書店で販売する。音楽CDをレコード店で販売する。

貸与(映画以外の著作物)

✓ 音楽CDをレンタルショップで貸し出す。

翻訳・翻案等

✓ 英語の歌詞を日本語訳する。小説を原作に脚本を作る。
ピアノ曲を吹奏楽で演奏できるように編曲する。

例えば

出典:公益社団法人著作権情報センター「小・中・高校生のための映像資料『どうすりゃいいんだ?』(著作権講座)解説編スライド」2024年

著作者人格権

著作者の権利

著作者人格権

著作権(財産権)※前記



権利の種類

権利の内容

公表権

自分の著作物で、まだ公表されていないものを公表するかしないか、
公表するとすれば、いつ、どのような方法で公表するかを
決めることができる権利

氏名表示権

自分の著作物を公表するときに、著作者名を表示するかしないか、
表示するとすれば、実名か変名かを定めることができる権利

同一性保持権

自分の著作物の内容又は題号(タイトル)を、
自分の意に反して、勝手に変えられない権利

出典:公益社団法人著作権情報センター「小・中・高校生のための映像資料『どうすりゃいいんだ?』(著作権講座)解説編スライド」2024年

著作権

基本的に...

許諾 が必要です



本日のおはなし

著作権法

権利制限規定

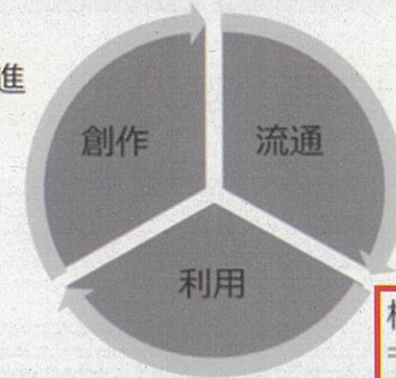
気をつけたいこと

「権利制限規定」とは

著作者の了解を得ずに
著作物等を利用できる

「著作権法」の目的

権利の保護
⇒創作の促進



権利の制限
⇒公正な利用の確保

出典:文化庁著作権課「令和6年度 著作権事務担当官講習会 著作権制度の概要について」2024年

権利制限規定

ただし…

人格権 が制限されている
とは限らない

公表権

自分の著作物で、まだ公表されていないものを公表するかしないか、
公表するとすれば、いつ、どのような方法で公表するかを
決めることができる権利

氏名表示権

自分の著作物を公表するときに、著作者名を表示するかしないか、
表示するとすれば、実名か変名かを定めることができる権利

同一性保持権

自分の著作物の内容又は題号（タイトル）を、
自分の意に反して、勝手に変えられない権利

出典:公益社団法人著作権情報センター「小・中・高校生のための映像資料『どうすりゃいいんだ?著作権』解説編スライド」2024年 を加工して利用

「権利制限規定」とは

どんな時に制限される?

